

# 第11回緩和ケア市民公開講座

## 「がんに寄り添う家族の想い」のアンケート結果

日時：平成29年11月25日（土）13：30～16：00（開場13：00）

場所：三川町 いろり火の里 なの花ホール

緩和ケア「庄内プロジェクト」について

緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川 センター長 鈴木 聡

講演：「悲しみを力に変えて、家での看取り」

講師 金子 稚子 氏

座談会：「ひとりじゃないよ、地域でみんなで」

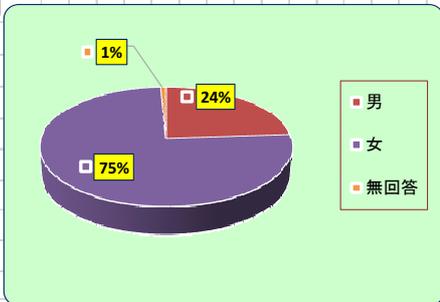
登壇者・金子稚子氏(コメンテーター)、瀬尾美穂氏、斎藤典子氏、阿部美知子氏、三原美雪氏(進行)

参加者数：186名（スタッフ含む） アンケート協力者：130名

### 1. あなた自身について

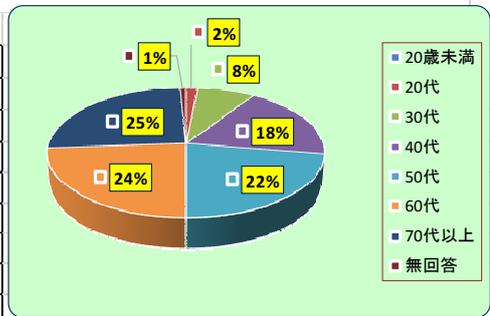
#### 1-(1) 性別

女性	98
男性	31
無回答	1
(合計 130)	



#### 1-(2) 年代

20歳未満	0
20代	2
30代	10
40代	24
50代	29
60代	31
70代	33
70代以上	1
無回答	1



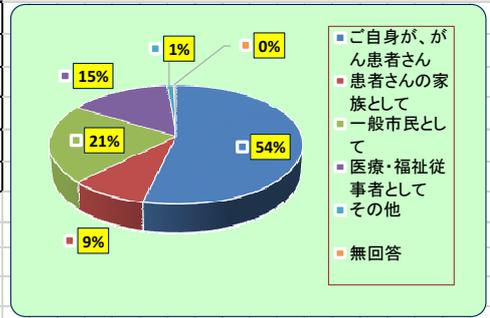
### <2. あなたの住まいについて>

鶴岡市	99
三川町	22
酒田市	6
庄内町	3
その他	0
無回答	0
(合計 130)	



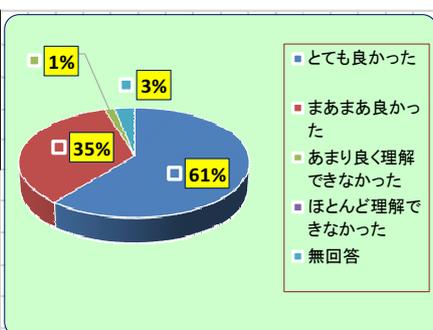
### <3. あなたのお立場を教えてください。>

ご自身ががん患者	116
がん患者さんの家族	19
一般住民として	45
医療・福祉従事者	32
その他	2
無回答	1



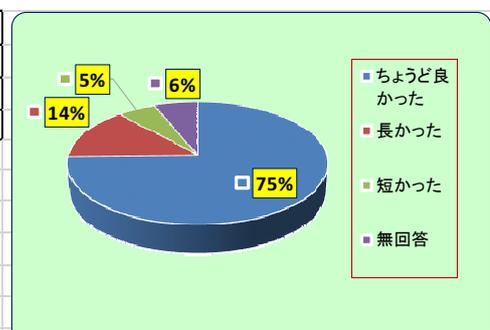
### <4. 「庄内プロジェクト」についての内容はいかがでしたか。>

とても良かった	79
まあまあ良かった	45
あまりよく理解できなかった	2
ほとんど理解できなかった	0
無回答	4
(合計 130)	



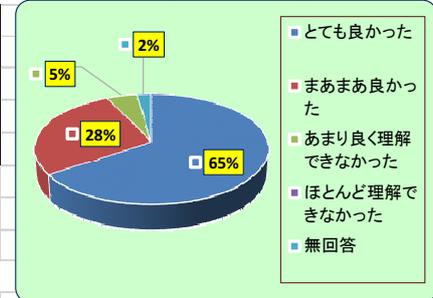
### <5. 「庄内プロジェクト」についての時間の長さはいかがでしたか。>

ちょうど良かった	97
長かった	18
短かった	7
無回答	8
(合計 130)	



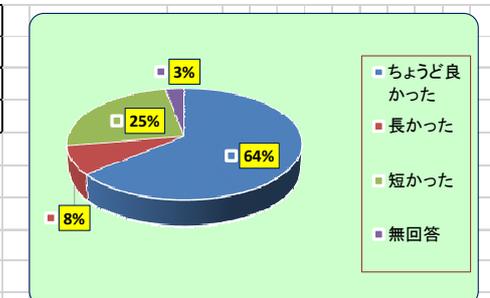
### <6. 講演の内容はいかがでしたか>

とても良かった	85
まあまあ良かった	36
あまりよく理解できなかった	6
ほとんど理解できなかった	0
無回答	3
(合計 130)	



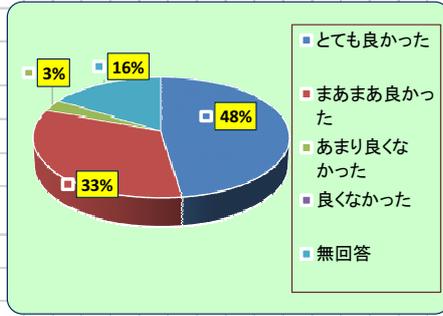
### <7. 講演の時間の長さはどうでしたか>

ちょうど良かった	83
長かった	11
短かった	32
無回答	4
(合計 130)	



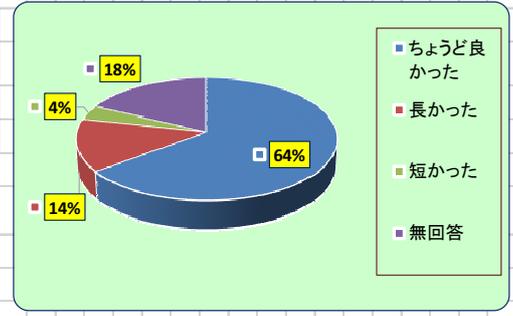
<8. 座談会の内容はどうでしたか。>

とてもよかった	62
まあまあ良かった	43
あまりよくなかった	4
良くなかった	0
無回答	21
(合計 130)	

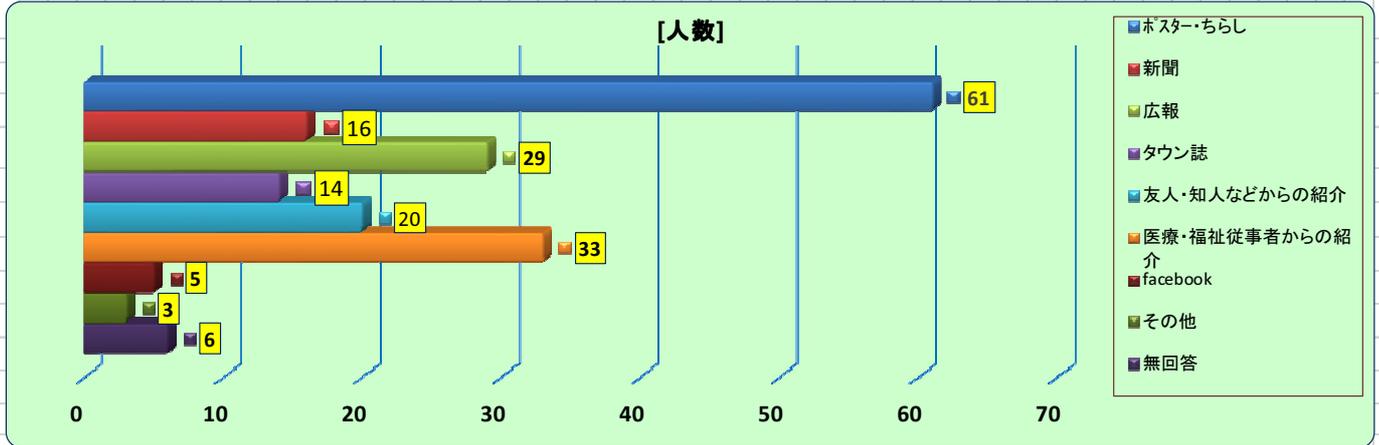


<9. 座談会の時間の長さはいかがでしたか。>

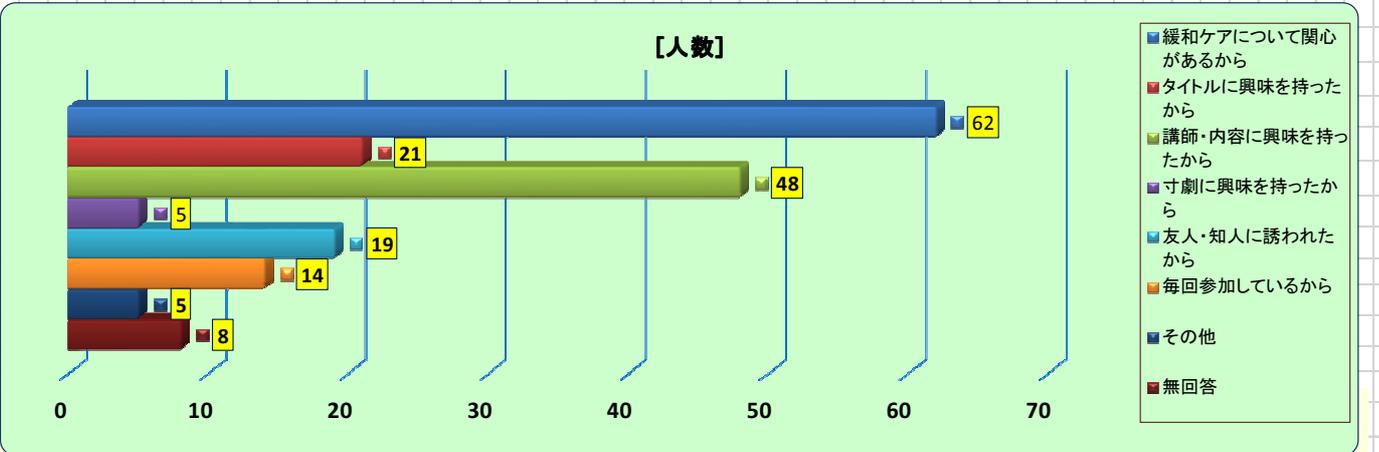
ちょうどよかった	84
長かった	18
短かった	5
無回答	23
(合計 130)	



<10. 今回の「市民公開講座」はどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)>

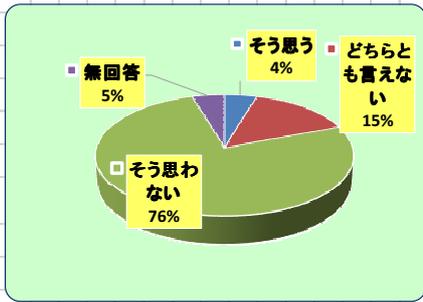


<11. 今回の「市民公開講座」に参加しようとしたきっかけは(複数回答可)>

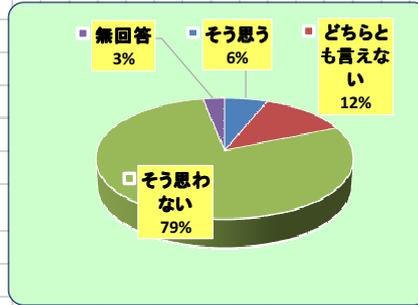


## 12. 緩和ケアや在宅医療についてのあなたのイメージについてうかがいます。

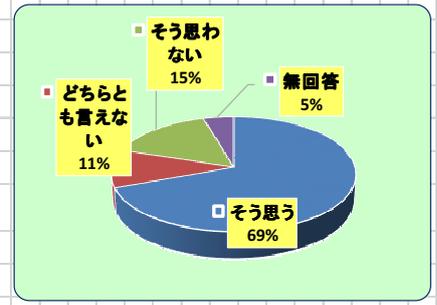
①がんになっても病名を告知されたくない



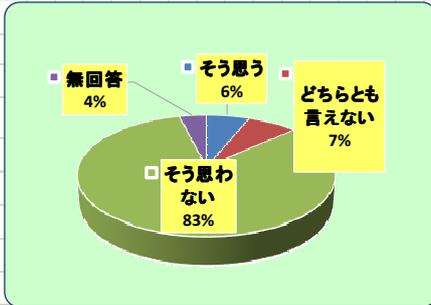
②緩和ケアとは、末期の患者さんだけが受ける治療・ケアである



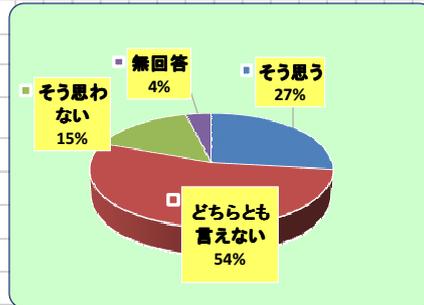
③緩和ケアとは、化学療法や放射線治療などがんに対する治療と一緒に進むものである



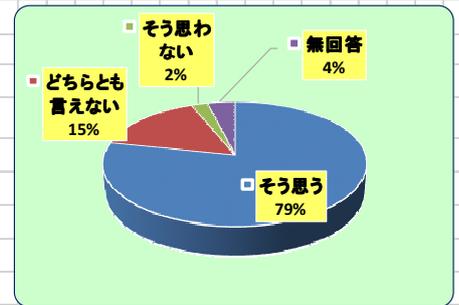
④医療用麻薬を使用すると中毒になる



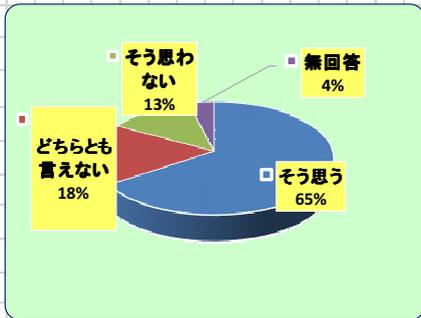
⑤あなたが、がんだったら、なくなる最期は自宅で過ごしたいと思いますか



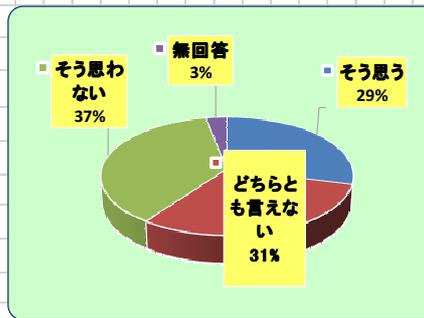
⑥自宅で療養することは、介護してくれる家族に負担の大きい



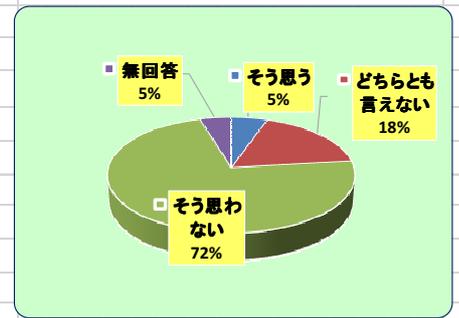
⑦自宅では、症状が急に悪くなったとの対応が不安である



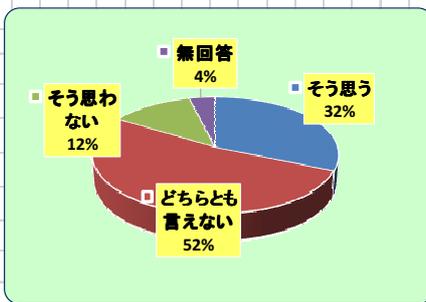
⑧自宅では十分に苦痛をやわらげることができない



⑨自宅で最後を看取することは、家族が患者に十分な医療を与えていないことになると思われる



⑩この地域では、がんになっても安心して過ごせると思う



※本日の緩和ケア市民公開講座についてのご意見・ご感想・ご要望等ご自由にご記入下さい。

また、今後取り上げてほしいテーマがありましたら、ご記入下さい。



- 20年前に父のがんの時と今はずいぶん緩和ケアが進んで不安が少なくなりました。ありがとうございました。
- 緩和ケアの事をわかりやすく説明してくれた。
- 緩和ケアの正しい知識を得られた。
- 緩和ケアというものを理解できたということはとても良かったと思います。そもそも自分や家族ががんにかかった時などに、とても心強いと思いました。金子さんの話はとてもよかったです。今日は参加してとてもよかったですと思います。人とのつながりの大切さも知りました
- 今回の金子講師の話をもっと少し長く聞きたかった。
- 体験者のお話は非常に力強く説得力がありますね。くじけない、負けない生き方、瀬尾さんのお話から「生きる」ことについてあらためて考えさせられました。ありがとうございました。発表者の皆さんのお話を伺って安心できた部分も大きかったです。
- 金子稚子氏は自らの経験をもとにとっても興味深く、ためになる話を聴くことができたと思います。私は過去数回緩和ケア市民公開講座に参加しているので緩和ケア庄内プロジェクトについては、ほぼ解っている。結論！金子氏の話をもっと長く時間をとってほしかった。プロジェクトの説明・座談会は不要。
- 金子さんにしろ瀬尾さんにしろ若くして「がん」を経験したり家族として過ごした経験を乗り越え、公の場で話をできる事の強さ、すばらしさを感じられ、とてもよい講演・講座でした。鶴岡の取り組みや施設なども知る事ができ良かったと思います。
- 講演会で体験談をもっと聴きたかった。大切な人の死に対して、どのように向き合ったのか？どう気持ちを立て直したか等。アドバイスケアプランニングって重要だと思う。亡くなる前に自分の事を事前に決めることができる。
- レジメに白紙の部分をもっとあるとメモはとりやすいと思います。展示コーナーの記載は小さくてもよいかと思いました。
- 医療職にも、一般の人にも、両方の心に響く講演会でした。座談会登壇者の皆さんのお話に、この地域ではがんになっても安心して暮らせるなど、うれしく思いました。
- 講座に関わった皆様お疲れ様でした。すばらしい機会をありがとうございます。
- 寒かった(空調)
- 自宅だと思っていともいざという時にDrが来てくれないという現実(地区にもよると思うけれど)
- この年になったので大変よかったです。
- とても参考になった(在宅医療等)
- 「死生観」について大切な人、身近な人と話をしていけたらと思った。実体験の金子さん、瀬尾さんの言葉はすごく重みがあり、大切に自分なりに考えていきたいと思った。
- 毎年実施している緩和ケア市民公開講座は、市民の方々の緩和ケアに対する理解に大変寄与していると思います。今後もよろしく願いいたします。今回も家族の想いについて金子さんのお話も大変有意義な講演・座談会だったと思います。ありがとうございました。
- 講演時間が短かった。もう少し聞きたかった。

- ひとりじゃないという事にとっても心強く感じました。夫を17前にがんで亡くして、その時の事を、事細かに思い出されました。あの時もっとがんや緩和ケアのことを勉強していたらと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 以前からピンクリボンの会が有るのは知っていましたが、鶴岡にこの会がある事は知りませんでした。いつか代表の方と話をしてみたいと思いました。
- 瀬尾さんの話に出てきた「リレー…？」について教えて欲しい。ブースとして出ていると話していましたが。
- 座談会に関しては、瀬尾さんに振り過ぎと思う。例えば、斎藤氏の在宅での看取り、阿部氏の体験におけるケーススタディ等もっと聞きたかった。
- がん患者さん、その家族の想いについてのお話はとても心にしみました。最期をどう向かえるか…今から自分自身の生き方も考えながら家族との想いを伝える機会をもちたいと思いました。さまざまながん患者さん「体験」から学ぶ機会は、今後も必要と思います。
- 10月に身内の患者本人より電話があり、私達はただビックリして何てお声をかけしていいかわからず、ただお話できる時にお見舞いに行き励ます事に決めました。今何して欲しいと聞いたら、庄内のお米・鮭の粕漬と言われ、さっそく送りました。次何をしてあげれば……。
- 自分も手術して、放射線の治療を受けたのですが、5年間の薬を飲んでいるのですが、なかなか飲み忘れたりしているのですが先生に言ったら、5年間だから「大丈夫」と言われたので少し気持ちが楽になったので良かったです。本当に今日参加して良かったです。
- 講演→夫の死後は、大変だったと思いますがその後、編集者や広告ディレクターとしての活躍ぶりにすごいなーと思いました。今後無理せず頑張ってください。  
座談会→大変良かったです。瀬尾さん大変でしたがすごく頑張って病気を乗り越えましたね。
- 大変感動しました。私達のまわりにこの様なチームがあった事を知り大変心強くなりました。
- 地域に医療緩和ケアの情報を知ることができてよかった。緩和ケアの医療での事がわからない。
- 毎年出席させてもらい今年も大変よかった。70才過ぎたのでがんに近づいたように感じます。
- ピンクリボンの会の瀬尾様に体験談等々、プライバシーもあるのですが、心強く生活なさっている様子を伺い、頭が下がる思いです。
- 会場の横長に対してスクリーンが小さいため、席のまんなか中はよく見えると思うが、端から3席くらいは見にくいと思う。金子さんの講演は遺族としての貴重なお話を語っていただき「生き方」と「逝き方」について考えることの大切さを改めて思いました。
- きょうは自分が知らなかった世界、人々の活動を知ることができました。
- きっとどこかに話を聴いてくれる誰かがいる、決してひとりではない！人とのつながりがあることを信じられることが重要だと思った。どこかで誰かとつながっていきたいと思います。

#### 《今後取り上げてほしいテーマ》

- 緩和メンバーの討論をお聞きしたいです。 ・がんの最新治療についての情報
- 医療者と患者経験者との意見交換。在宅看護経験者の体験談

#### 《要望》

- (株)ヤクルト工業のHPを見ていただきたいです。(今後の医療の為に)がんしやすい医療器です。
- 早期がん発見への取り組みの情報を整備。検診の再検の未受診への取り組みと対策が必要。市民の意識への働きかけ。

ご協力ありがとうございました。

南庄内緩和ケア推進協議会(市民公開講座グループ)